

三川町のごみ減量・ リサイクルの取組資料



みかわ環境つうしん

Mikawa Environment Newsletter

～もやすごみを減らそう～

昨年度、各町内会のごみステーションに出されたごみの量は、令和4年度に比べ減少(▲8.24%)しました。今回は、全体の9割を占める「もやすごみ」の減量がテーマです。

●雑紙は資源回収へ(「ごみ」ではなく「資源」です！)

リサイクルできる古紙類は、もやすごみとして捨てずに、育成会・町内会の資源回収に出すか、毎週日曜日に開所している資源リサイクルステーションに出してください。

●生ごみなどの水分は切ってから

夏は、スイカの皮など、水分を多く含む野菜くずが多く捨てられます。生ごみをごみ袋に入れる際は、水分をよくしぼってください。また、乾燥させることができるものや刈り取った草は乾燥させてからごみに出してください。

●おいしく食べきりで、食品ロス・もやすごみ削減！

食材の適量購入や使いきり・食べきりを意識しましょう。

【令和5年度ごみ収集量実績】	ごみ収集量(かつこ内は前年度)	対前年度比	ごみの割合
もやすごみ	1,358.09t (1,483.69t)	▲8.47%	91.4%
プラスチック製容器包装類・ペットボトル	48.43t (49.78t)	▲2.71%	3.3%
びん・缶	47.41t (52.27t)	▲9.30%	3.2%
金属・その他	29.29t (30.53t)	▲4.06%	2.0%
廃蛍光管・廃乾電池等	2.32t (2.68t)	▲13.43%	0.1%
合計	1,485.54t (1,618.95t)	▲8.24%	100.0%

○問合せ先 建設環境課 環境整備係 ☎35-7036



鶴岡市
「酒と肴と鼠ケ関」
イカ・マグロまつり

○日時 6月22日(土)

午前10時～午後3時

○会場 県漁協念珠関支所市場

○内容 マグロ解体ショー＆振る

舞い、庄内の地酒試飲コーナー

(費用…2千円、当日は5百円増

し)、海産物の焼き物・汁物等の

販売など

○問合せ先 あつみ観光協会

☎43-3547

酒田市
酒田市美術館

中山みどりフェルトアート展

羊毛と針1本だけで、まるで生き

ているかのように表情豊かな動物を

創り出すフェルトアート作家・中山

みどりさん。見れば思わず笑顔に

なってしまう、ぬくもりあふれる世

界をどうぞお楽しみください。

○期間 7月15日(月・祝)まで

○時間 午前9時～午後5時(最

終入館は午後4時30分)

○観覧料 一般1,000円、高校

生500円、中学生以下無料

※小学生以下は保護者同伴必須

○会場・問合せ先 酒田市美術館

☎0234-31-0095

庄内町
風車村イベント情報

◆ラベンダー・ブルーベリー摘み取り体験

○日時 6月中旬～7月中旬の火

曜・金・日曜日

午前10時～正午、午後1時～3時

○会場 農林漁業体験実習館前

○参加費 ラベンダー300円、ブ

ルーベリー500円

◆ラベンダーステックづくり体験

○日時 6月23日(日)

午前9時30分～正午

○会場 ウィンドーム立川

○参加費 400円

○問合せ先 ウィンドーム立川

☎0234-56-3361

遊佐町
鳥海山 おもしろ自然塾

湧水とびうおラーメン体験

○日時 6月30日(日)

午前11時～午後1時

○会場 しらい自然館

○内容 湧水とほかの水の飲み比

べ、とびうおでだしを取ったラ

メンの試食(食後に湧水デザート

あり)

○参加費 大人1,500円

小学生1,300円

○申込み締切り 6月25日(火)まで

○申込み・問合せ先 鳥海山おもしろ

ろ自然塾推進協議会事務局

☎0234-72-2069

資源リサイクルステーション・資源ポストをご利用ください

資源リサイクルステーション・資源ポスト開所日時

毎週日曜日 午前8時から正午まで

回収できます		主なもの	出し方
金属類		鉄類・アルミ製品(アルミサッシのガラスは外してください)・ステンレス・銅・真鍮など	そのまま出してください
空き缶		缶詰缶・一斗缶・使用済スプレー缶・カセットガスボンベなど	透明な袋に入れてください 使用済スプレー缶・カセットガスボンベは使い切ってから穴を開けないで、出してください
自動車部品 自転車など		鉛バッテリー・ホイールのみ(アルミ又はスチール)・アルミホイール付タイヤ・自転車・農機具	そのまま出してください
廃油		エンジンオイル (ガソリン・混合油・軽油・灯油は回収できません)	混ぜないで一斗缶などの金属製の容器に入れてください
使用済 小型家電		ノートパソコン、液晶ディスプレイ、DVDプレーヤ、BSアンテナ、電話機、ゲーム機、カー用品(スピーカ除く)、付属コード、携帯電話など	乾電池・インク等を外して出してください 登録されたデータは必ず消去してください
上記以外の 家電		石油ストーブ・電子レンジ・ビデオデッキなど主に外装が金属製の家電(外装がプラスチック製の場合は回収できません)	そのまま出してください
新聞紙等		新聞紙、雑誌、段ボール	紙以外のもの(ビニール、アルミの付いている紙など)、汚れた段ボールは出さないでください 紙ひもで縛って出してください
雑紙		トイレットペーパーの芯、紙箱(ティッシュ、お菓子等)、包装紙、紙袋、牛乳パック、封筒など	紙ひもで縛るか、紙袋に入れて出してください 牛乳パックは牛乳パックだけでまとめて出してください
びん類		一升びん(茶色・緑)、ビールびん(大びんのみ)	そのまま出してください
発泡 スチロール		発泡スチロール製緩衝材、保冷箱など	複数まとめて出す場合は、小さな物は透明な袋に入れ、大きな物はビニールひも等で縛って出してください

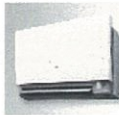
※令和3年4月1日より、衣料品、廃食用油、プリンターは回収しません。

※回収対象品であっても、汚れている場合は回収できません。

※紙類を出す際は、紙以外のもの(ビニール、アルミの付いている紙など)及び汚れた段ボール(塗料や油が付着したもの)は出さないでください。

回収できるか分からない物については、事前に右記回収業者にお問い合わせするか、または資源リサイクルステーション・資源ポスト開所時に係員にお問い合わせください。

三川町建設環境課 電話 0235-35-7036

回収できません		主なもの	
家電リサイクル法対象品	   	洗濯機・衣類乾燥機・冷蔵庫 冷凍庫・テレビ・エアコン	
生活用品	   	布団・カーテン・たんす・ソファ じゅうたんなど木製品や布製品	
衣料品・靴下・作業着・靴・カッパ等	   	衣類・カバン・靴下・作業着・ぬいぐるみ・靴・長靴・カッパなど	
その他	         	びん類・ビニール類・食器類(陶磁器類・ガラス製品)・消火器・金庫・楽器・プラスチック製品(外装がプラスチック製の家電類含む)・電池・鏡・スチールホイール付タイヤ・ゴム部分だけのタイヤ・机・椅子・電気照明器具・電気カーペット・電気毛布・アルミサッシ(ガラスを外していないもの)・廃食用油・プリンター	

問い合わせ先(回収業者等)

- 新聞紙等、雑紙、ビールびん、金属類、
空き缶、自動車部品・自転車など、
廃油（エンジンオイル）、
使用済小型家電以外の家電

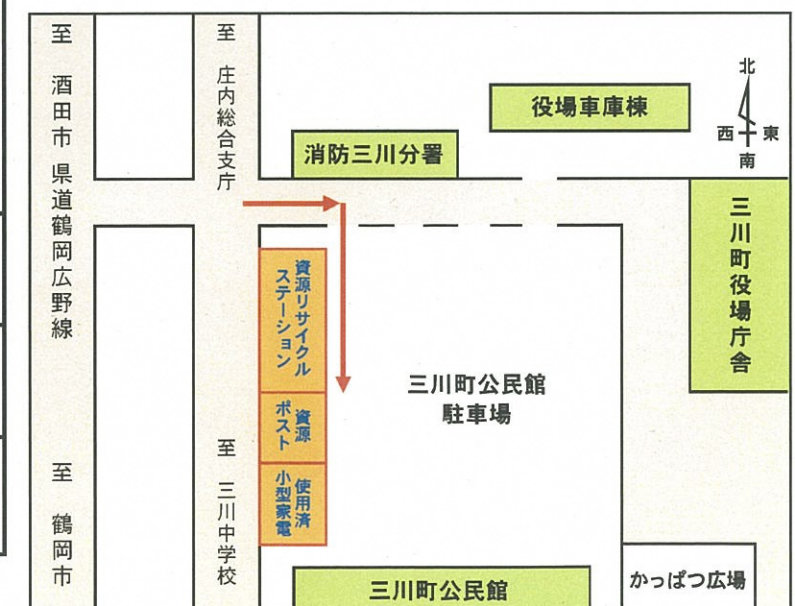
株式会社グリーンシステム
☎0235-25-6003
グリーンステーション鶴岡店
☎0120-237-889

- 使用済小型家電
株式会社鍋元商店 酒田営業所
☎0234-33-2626

- 一升びん(茶色・緑)
山形県酒類卸株式会社 鶴岡支店
☎0235-24-3320

- 発泡スチロール
東北イートップ株式会社
☎0235-64-5785

資源リサイクルステーション・資源ポスト案内図



町内会等集団資源回収量実績

単位：k g

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
び ん 類	4,629	3,833	2,737	2,156	1,806
雑 誌	31,162	30,290	30,425	25,813	25,676
新 聞 紙	77,475	69,724	66,926	60,937	55,222
段 ボ ー ル	38,568	37,646	36,823	36,397	34,069
牛 乳 パ ッ ク	660	751	774	686	669
そ の 他 雑 紙	510	670	980	940	950
空 き 缶 ・ 金 属 類	66	116	92	45	82
合 計	153,070	143,030	138,757	126,974	118,474

資源リサイクルステーション回収量実績

単位：k g

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
び ん 類	1,653	1,655	1,140	1,153	816
雑 誌	23,694	25,664	22,004	21,550	19,043
新 聞 紙	25,442	26,564	22,138	22,356	18,712
段 ボ ー ル	23,636	27,872	25,579	25,208	25,540
牛 乳 パ ッ ク	285	357	232	319	324
空 き 缶 ・ 金 属 類	317	413	354	368	360
発 泡 ス チ ロ ー ル	319	499	472	368	357
合 計	75,346	83,024	71,919	71,322	65,152

住民参加型空き缶回収量実績

単位：k g

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
ア ル ミ 缶	4,784	4,755	4,112	3,403	—
ス チ ー ル 缶	2,133	1,940	1,852	1,173	—
合 計	6,917	6,695	5,964	4,576	—

※令和5年度より回収先の都合により回収量の集計を行わないこととしたため、回収量不明。

小学校空き缶回収量実績

単位：k g

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
ア ル ミ 缶	489	458	344	404	342
ス チ ー ル 缶	38	23	23	12	11
合 計	527	481	367	416	353

廃食用油回収量実績

単位：ℓ

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
廃食用油	555	655	674	596	610

資源ポスト回収量実績

単位：kg

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
アルミ製品	369	666	538	403	569
鉄製品	3,370	4,431	3,740	4,251	2,756
その他の金属製品	7	40	74	55	58
衣類	1,666	2,237	—	—	—
廃油	693	1,035	529	635	455
ペットボトル	1,626	1,792	—	—	—
その他	1,129	1,560	1,254	998	676
合計	8,860	11,761	6,135	6,342	4,514

※衣類及びペットボトルの回収は令和２年度末で終了

使用済小型家電回収量実績

単位：台(上段)、kg(下段)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
パソコン	51	93	42	65	35
	291	501	220	301	151
プリンター	36	77	—	—	—
	275	584	—	—	—
パソコン用モニター	—	—	14	21	6
	—	—	60	101	23
パソコン用周辺機器	5	7	4	11	7
	2	7	3	12	22
携帯電話	2	19	21	39	—
	2	6	7	12	—
固定電話(FAX)等	20	29	18	15	5
	49	99	62	51	15
ビデオカメラ	0	0	0	1	—
	0	0	0	1	—
デジタルカメラ	2	1	1	0	3
	2	1	1	0	2
ゲーム機	10	20	2	1	6
	22	45	4	3	13
DVD・CDプレイヤー等	33	61	24	21	15
	112	209	90	64	51
地デジ・BSチューナー	8	4	4	2	3
	12	9	11	10	13
ワープロ	6	11	3	4	3
	33	67	18	20	12
カー用品	9	7	1	18	4
	12	18	4	41	10
電子辞書	0	1	0	0	—
	0	1	0	0	—
その他	—	2	4	4	3
	0	1	40	29	48
合計	182	332	138	202	90
	812	1,548	520	645	360
再資源化した重量(kg)	785	1,450	505	622	340
再資源化率(%)	96.7	93.7	97.0	96.0	94.0

※平成27年度より開始

※平成27年度はイベント回収及び窓口回収による回収

※平成28年度はイベント回収、窓口回収及び資源RSによる回収

※平成29年度以降は使用済小型家電専用プレハブによる回収

※プリンターの回収は令和2年度末で終了

ごみの減量化・再資源化等に向けた具体的方策（案）

（１）ごみの減量化・再資源化の具体的推進方策

具体的施策としては、発生段階での発生抑制はもちろんのこと、適正排出の指導の徹底と併せて、できる限りの再資源化を図り減量化を行うものとする。

①ごみ発生抑制策の普及促進

ごみ減量化及び再資源化の第一歩はごみ発生の抑制である。簡易包装商品を購入するなど、ごみになるものを買わない、増やさないなどという気運を醸成する。

②学習会への講師派遣

「混ぜればごみ、分ければ資源」という言葉があるように、分ければ資源となるものが、適正分別されていないためにごみとして処理されている。

きちんと分別してもらうには、分別に対する理解が不可欠であり、町内会や各種団体への講師派遣や学習会開催の支援等により、町民に分別の徹底やごみ減量化への理解を求めていく。

③生ごみの減量化・食品ロス対策

家庭から排出されるごみのうち、重量として大きな割合を占めるのが生ごみであり、その減量化に努める。生ごみ発生の原因となる食事の作りすぎや食べ残しなどの食品ロスの削減や、排出前の水切りの徹底について、各種団体が実施する学習会やイベントの場を利用して町民への理解と協力を求めていく。

また、生ごみ処理機についても機会を捉えて普及促進を図り、各家庭から排出される生ごみの減量化を図る。

④資源回収の促進

各家庭において発生するビール瓶、一升瓶、スチール缶・アルミ缶、新聞紙、雑誌、段ボール、牛乳パック、雑がみなどについては、各町内会や育成会などが実施する集団資源回収及び町が管理・運営する資源リサイクルステーションと資源ポストを活用し、再資源化に努めるよう指導する。

町内３小学校では空き缶回収事業を行っており、子どもの環境教育の推進のため、今後も学校に理解と協力を求め、継続して事業展開するとともに、支援を行っていく。

⑤プラスチックごみ削減の啓発

レジ袋やスプーンなどのワンウェイ（使い捨て）プラスチック利用削減の呼びかけを行う。

⑥使用済小型家電リサイクルの推進

平成２５年３月に小型家電リサイクル法が施行されたのに伴い、資源リサイクルステーションの南側に設置した使用済小型家電専用プレハブでの回収に継続して取り組む。

また、令和５年度にはリネットジャパンリサイクル(株)と家庭で不要になった

パソコン等の小型家電を宅配便により回収する協定を締結し、資源ポストに持ち込むことが難しい方でもリサイクルに取り組めるようにした。

引き続き「金属・その他」に分別されているごみの排出量の削減を目指す。

⑦家庭で使用した廃食用油の回収

平成20年度までは廃食用油を固化剤で固めるほか、新聞紙にしみ込ませるなどの処理をした後に「もやすごみ」として廃棄していた。平成21年度からは全町内会において資源として回収し、BDF（バイオディーゼルフューエルの略。生物由来の油から作られるディーゼルエンジン用燃料の総称）に生成している。今後も町民に呼びかけ、ごみの減量化及び地球温暖化防止につなげていく。

⑧資源ポストの活用

平成22年6月より資源リサイクルステーションの南側に資源ポストを開所し、資源となるものを積極的に回収してごみ減量化の取り組みを行っている。平成29年度からは使用済小型家電回収用のプレハブを設置したところであり、今後も呼びかけを行い更なる回収量の増加を図る。

⑨製品の再利用（リユース）の促進

各家庭において物を大切にできるだけ長く使用し、それでも不要な場合はフリーマーケットやバザーを活用するなど、できるだけごみにしない努力をするよう町民に対して協力を求めている。

令和5年度にはイオンモール三川との共催で衣料品回収「幸服リレー」を実施し、リユースの促進に努めた。今後もイオンモール三川と連携したリユース事業の実施を図っていく。

また、令和5年度に地域情報サイト「ジモティー」を運営する㈱ジモティーと、「リユース活動の促進に向けた連携と協力に関する協定」を締結した。ジモティーは全国各地の地元情報が掲載された掲示板であり、その掲示板を通してまだ使える不用品を必要とする方に譲る取り組みを支援していく。

さらに、今年度新たに㈱マーケットエンタープライズとリユースプラットフォーム「おいくら」を活用したリユース促進の連携を開始し、取り組みを強化した。

これらのリユース事業について継続して取り組んでいく。

⑩使用済みペン及びインクカートリッジの回収

令和5年度より㈱パイロットコーポレーションと連携した使用済みペン等の回収、またジット㈱と連携した使用済みインクカートリッジの回収を開始した。今後も町民にリサイクルの協力を呼びかけていく。

⑪LINEでのごみ分別検索機能の活用

令和5年度にLINEでごみ分別検索ができるようにした。町民に引き続き適正分別の協力を求めている。

⑫ごみ処理有料化に向けた検討

ごみの減量化と再資源化率の向上、排出量に応じた負担の公平化及び町民の意識改革やごみ処理経費削減のため、一般廃棄物処理の有料化実施が課題となっている。山形県内では、庄内地域の全市町でごみ処理有料化を実施しておらず、鶴岡市及び酒田地区広域行政組合の各市町と情報共有しながら、引き続き検討を行う。

⑬事業所におけるごみ減量化対策

町内で事業活動を行う事業者は、事業活動に伴い発生するごみを適正に分別及び排出抑制したうえで鶴岡市の各施設に搬入するものとする。また、資源化できる段ボールや新聞紙などは再生業者へ依頼するなどし、可能な限り再資源化に努めるものとする。

鶴岡市ごみ焼却施設への搬入は一般廃棄物に限るため、一般廃棄物と産業廃棄物の混在を避け適正分別を行い、自己搬入するか町が許可する収集運搬業者に委託して処理を行うものとする。また、事業所で生産される製品の過剰包装や使い捨て容器の生産・使用は極力避け、可能な限りごみ減量化が進むよう協力を求めていくものとする。

⑭し尿収集運搬業者の持続的な運営の確保

し尿収集運搬業者の持続的かつ安定的な運営の確保が課題となっており、対策を検討していく。